

大和郡山市議会だより 令和7年 第3回 定例会

市議会の第3回定例会が、9月1日(月)～9月18日(木)に開かれました。

問合せ＝議会事務局(内線774)

II 議決結果について

	件 名	議決結果
同意案	同意案第3号 教育委員会教育長の任命について 松原 義文 氏を教育長に任命することについて、議会の同意を得ます。	同意 (賛成全員)
	同意案第4号 固定資産評価審査委員会委員の選任について 馬場 勝也 氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することについて、議会の同意を得ます。	同意 (賛成全員)
	同意案第5号 人権擁護委員の推薦について 植松 明夫 氏を人権擁護委員に推薦することについて、議会の同意を得ます。	同意 (賛成全員)
	同意案第6号 人権擁護委員の推薦について 阪本 裕紀子 氏を人権擁護委員に推薦することについて、議会の同意を得ます。	同意 (賛成全員)
	同意案第7号 人権擁護委員の推薦について 平井 信明 氏を人権擁護委員に推薦することについて、議会の同意を得ます。	同意 (賛成全員)
議案	議案第40号 大和郡山市職員の育児休業等に関する条例及び大和郡山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について 育児に係る部分休業制度において新たな取得方法を追加するとともに、職員が子の年齢に応じた柔軟な働き方を選択できるよう支援するための措置について規定します。	原案可決 (賛成全員)
	議案第41号 大和郡山市債権管理条例の制定について 本市が保有する債権について、統一的な管理基準を確立することを目的とし、具体的な債権管理の手續きに関して必要な事項を定めます。	原案可決 (賛成多数) ※賛否は別表
	議案第42号 令和7年度大和郡山市一般会計補正予算(第3号)について ・補正額 6,691万円の増額 ・歳入歳出総額 376億7,731万円 ・主な補正内容：マイナンバーカード更新に係る窓口業務増大に対応するための関連事務経費、清浄会館の旧斎場部分の解体等に要する経費など	原案可決 (賛成全員)
	議案第43号 令和7年度大和郡山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について ・補正額 1,986万円の増額 ・歳入歳出総額 101億5,232万8,000円 ・主な補正内容：国及び県負担金等の精算の結果、超過交付が発生したことによる償還金に要する経費	原案可決 (賛成全員)
議認	議認第3号 令和6年度大和郡山市一般会計歳入歳出決算について 歳入総額 368億8,388万3,000円 歳出総額 358億4,768万5,000円 実質収支額 8億3,372万2,000円	認定 (賛成多数) ※賛否は別表
	議認第4号 令和6年度大和郡山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額 87億7,804万4,000円 歳出総額 86億634万2,000円 実質収支額 1億7,170万2,000円	認定 (賛成多数) ※賛否は別表
	議認第5号 令和6年度大和郡山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額 18億4,331万5,000円 歳出総額 18億4,067万8,000円 実質収支額 263万7,000円	認定 (賛成多数) ※賛否は別表
	議認第6号 令和6年度大和郡山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額 97億5,813万8,000円 歳出総額 97億5,700万3,000円 実質収支額 113万5,000円	認定 (賛成全員)
	議認第7号 令和6年度大和郡山市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額 3,445万3,000円 歳出総額 2,835万2,000円 実質収支額 610万1,000円	認定 (賛成全員)
	議認第8号 令和6年度大和郡山市公園墓地事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額 5,366万9,000円 歳出総額 983万6,000円 実質収支額 4,383万3,000円	認定 (賛成全員)
	議認第9号 令和6年度大和郡山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額 838万円 歳出総額 838万円 実質収支額 0円	認定 (賛成全員)

	件 名	議決結果
意見書案	意見書案第9号 学校施設を良好に保ち、快適な教育環境を確保することに関する意見書について	原案可決 (賛成全員)

※請願書（陳情書、要望書）の提出について：請願書等はいつでも受付をしていますが、審査の都合上、できるだけ定例会開会前の議会運営委員会が開かれるまでに提出してください。なお次の定例会は、12月上旬の予定です。詳しくは、議会事務局（内線 774）までお問い合わせください。

賛否が分かれた議案

	東川 勇夫	福田 浩実	村田俊 太郎	北野伊 津子	上田 健二	金銅 成悟	中村 尊裕	河田 和美	堀川 力	乾 充徳	徳野 衆	丸谷 利一	下地 敦志	遊田 直秋	西村千 鶴子	林 浩史	鈴木 健嗣	富野 孝之	吉川 幸喜	西川 貴雄
議 案 第 41 号	議 長	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 認 第 3 号		○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 認 第 4 号		○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 認 第 5 号		○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成・・・○ 反対・・・×

※議長は採決に加わりません。

II 市議会からのお知らせ

大和郡山市議会議員は政務活動費を受け取っていません

平成 13 年に制度化され、議員が受け取ることのできる政務調査費（現在は政務活動費）ですが、市の財政状況等を鑑み、大和郡山市議会議員は、当初から受け取っていません。

一般質問 発言の要旨

QR コードから、議会インターネット中継をご覧ください。

1 日 目



2 日 目



※携帯電話回線で視聴する場合は、データ通信量の上限にご注意ください。

※携帯電話回線の契約内容によっては、通信料の支払いが必要となる場合があります。

1 日 目

福祉事業について

村田俊太郎 議員

〔問〕 令和6年改正で「持続可能な権利擁護支援モデル事業」が拡充され、包括的な相談・調整窓口の整備に加え、総合的なパッケージ支援が追加されました。この事業の活用についての市のお考えは。

〔答〕 高齢化が進み、高齢者の単身世帯の増加が見込まれる中、身寄りのない高齢者等の生活上の課題に向き合い、安心して歳を重ねることができる社会を創っていくことは重要であると考えております。実施に当たっては庁内関係部署のみならず、外部の関係諸団体との連携も必要となり、また相談から調整までを担う専門の相談員配置など体制づくりから必要となることから、他の実施自治体の状況も見ながら検討していきたいと考えます。

大和郡山すこやか21計画推進について

林 浩史 議員

〔問〕 第2次大和郡山すこやか21計画において、市民の健康増進に取り組む中で、特に生活習慣病の予防として、歩くこと（1日8,000歩の内、早歩き20分）が重要であります。その取り組みについてお聞かせください。

〔答〕 生活習慣病の予防を図るには、運動する習慣を身につけることや歩く機会を増やすことが重要であります。特に歩くことは、骨や筋肉の強化、ストレス解消など心身の健康に非常に効果的であることから、今後は、既存のウォーキングコースを紹介するなど、多くの人が無理なく日常生活の中で歩くことができる方法や環境を提供できるよう努めて参ります。

①本市のまちづくりについて
②幼稚園について 富野 孝之 議員

問 ①郡山城跡公園グランドオープンを機に城下町を含め、市民の活動の場が急増している。どんな活動があり、また、元気ある市民が活躍できるイベントはあるのか。②幼稚園に対する保護者ニーズである預かり時間延長や昼食提供などについて公立幼稚園として対応できるか。

答 ①郡山城跡公園では、郡山にぎわいづくり事業を実施しており、その中の郡山・市の日、地元生産者等の朝市です。個人やグループでも参加できるため、参加を検討し活動の場を広げて頂きたい。②片桐幼稚園にて、現在の幼稚園の仕組みの中で、人員配置を見直すことや配食サービスを利用することで、令和10年度から預かり時間の延長や昼食の提供などを行いたいと考えています。

マイナンバー、マイナ保険証について
上田 健二 議員

問 紙の保険証発行廃止により「マイナ保険証がないと受診できなくなる」との不安が広がっているが、マイナンバーに関する相談件数は。国民健康保険も後期高齢者医療と同様にマイナ保険証の有無に関わらず全ての方に「資格確認書」を送付すべきではないか。

答 マイナンバーに関する問い合わせは、保険に関するものだけではありませんが、月に約400件近く電話による相談がございいます。本市では、国の方針どおりマイナ保険証をお持ちの9,314名の方には「資格情報のお知らせ」をまたマイナ保険証をお持ちでない5,408名の方へは「資格確認書」を送付いたしました。

①高齢者の見守りについて ②健康寿命延伸について
西村千鶴子 議員

問 ①孤独死が増加している状況で、一人暮らし高齢者の見守り拡充のために、トイレの電球を変えるだけで24時間オン・オフがなければ自動でメールが届き、訪問されるサービスの検討は？②健康寿命延伸のため、低栄養と運動不足解消の方策としてスタンプ集めと、卵・牛乳・豆腐を景品にすることを提案します。市の方針は？

答 ①IoTを活用した高齢者見守り事業について、効果や費用面を考慮し、当市で既に取り組んでいる事業と組み合わせ、充実に取り組んで参ります。②食生活において、たんぱく質を毎食接種することの重要性を広く啓発すると共に、日常生活での歩数の増加を目指し、日々の運動を習慣づける手法を検討して参ります。

都市計画道路城廻線について
下地 敦志 議員

問 都市計画道路城廻り線開通により、JR郡山駅西側から郡山南小学校の南側の道を通って柳町へ抜ける道である市道柳町停車場線における自動車の交通量は、どのぐらい増減すると見込んでいるのか。また、当該道路の歩行者の安全確保は、どのように講じる予定か。

答 交通量は、平成23年7月の事業認可時におこなった「将来交通量推計結果」において、1日あたり約500台増加すると示されています。当該道路の安全確保としては、現状の道路幅での対応となるため、路面表示による注意喚起対策が考えられ、各関係機関と協議を行い、必要に応じて、グリーンベルト等の対策も検討します。
他の質問項目：小中学校の再編について

①介護支援について
②下水道整備について 徳野 衆 議員

問 ①昨年の介護報酬削減で多くの市内事業所が経営悪化を訴える中、支援策は？②スポットワークのタイミーは労働トラブルが多く他市で不適切と指摘もあり、事業支援には物価対策や報酬加算を求めるが今後の介護DXの進捗は？③下水道整備について埼玉県での陥没事故の検証では不十分な点検基準の指摘があるが、今後の点検強化は？

答 ①スポットワーク活用セミナーや入門的研修の実施など人材確保の支援に取り組んでいます。②基幹システム標準化にあわせて、国が進める介護情報基盤と連携できるよう準備します。③今後の陥没防止に向けた具体的な方策を検討する奈良県地下占用物連絡会議や国の動向を注視しつつ下水道の点検強化の対応をしていきます。

公費助成の取り組みと拡充について
福田 浩実 議員

問 ①不妊不育治療の通院に係る交通費の助成は？脱毛症に悩む子どもへの医療用ウィッグ購入費の助成は？②飼い主のいない猫の避妊・去勢手術補助金の増額は？③食物アレルギーで学校給食を食べられないご家庭への支援は？

答 ①交通費助成は、各自治体の地理的要因や公共交通の整備状況等を踏まえる必要があるため、直ちに実施することは困難であると考えております。脱毛症に悩む子どもへの助成は、市全体の施策とのバランスや、子育て健康関連事業などの優先順位を見極めながら、慎重に検討してまいります。②現場のご意見もしっかりと伺いながら検討してまいります。③学校給食を食べられないご家庭への支援は、今後も国等の動向を注視してまいります。

障がい者福祉について

北野伊津子 議員

問 ①障がい者の相談窓口として基幹相談支援センターの設置が求められるが市の考えは？②手話施策推進法が施行された。今後どのような取り組みをされるのか？

答 ①障害者相談支援事業における相談件数が増加しているなかで地域における相談支援の中核となる基幹相談支援センターの設置は相談窓口が一本化され、市民にとってメリットになりますので、設置に向け、検討してまいります。②平成27年に制定した大和郡山市手話言語条例の市の責務である「市民の手話に対する理解の促進を図り、手話を使いやすい環境にするための施策を推進するものとする。」を実現できるよう施策を進めてまいります。

障害児通所支援事業所における虐待通報への対応と再発防止 中村 尊裕 議員

問 ①事案発生後、当該事業所利用者に対する安全・安心確保について②再発防止策について

答 ①虐待を行った職員の配置転換など利用者が安心して過ごせる環境を作るための措置をさらに講じます。②当該事業所に虐待防止改善計画の作成や第三者による虐待防止委員会の開催を求め、改善計画に沿って事業が行われているか事業所または第三者委員から定期的に報告を受け、必要に応じて事業所に対する指導や助言を行うなど当該虐待の背景や要因を分析し、事業所の再発防止の取り組みを支援してまいります。また、本市の現状や課題に合わせた施策を検討し、様々な角度から虐待の課題も含めて障害者に対する理解を深めることに注力してまいります。

2 日 目

高齢者福祉の課題について

丸谷 利一 議員

問 高齢者の社会的孤立や生活困難について①市はどのような課題を把握し、事業を実施しているか。②高齢者を支えるネットワークはどのように構築されているか。

答 ①高齢者が住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、生活を支える相談窓口として、地域包括支援センターを設置しています。令和7年10月1日には矢田コミュニティ会館内に第五地域包括支援センターを開設し、支援体制の強化を図ります。②各地区社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、地域に近いところで生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を推進しています。

空家の利活用について

鈴木 健嗣 議員

問 日本各地でも空き家の問題は深刻化しており、解決には、民間との連携を図り、様々なアプローチで課題に取り組む必要があると考えますが、本市での空き家の利活用の取り組み状況や民間との連携状況、市営住宅においても民間と連携して住みやすい環境に整えることができないかについてお伺いします。

答 本市では、空き家の売却等を希望する所有者から情報を受け、定住等を目的とした希望者に提供・紹介する空き家バンクの設置のほか、空き家を店舗等として活用する事業を公民連携で進めています。また市営住宅の空き物件の使用は、非営利団体の事業者が計画される内容が市営住宅施策に合致するか総合的な判断が必要と考えます。

プレコンセプションケアの推進と取り組みについて

河田 和美 議員

問 ①男性へのHPVワクチン接種の効果と接種助成のお考えは？②AMH検査について今後のお考えは？

答 ①女性がワクチンを接種していても男性が未接種であれば性行為により感染する可能性もあります。男性がHPVワクチンを接種することで、肛門がんや陰茎がんなどの予防や女性への感染リスクを減らし、子宮頸がん予防の効果も期待できます。男性へのワクチン接種助成については、国の動向や他市町村の状況も把握し、今後見極めてまいります。②AMH検査は、出産時期などの検討材料となり、早期の不妊治療につながる可能性もあることから、検査費用の助成について、本市医師会と協議を行い、実施方法や課題を整理しながら準備を進めてまいります。

子ども・子育て支援について

堀川 力 議員

問 少子化対策は喫緊の課題である。財源に限りがあることは承知しているが、本市が子育て世代にとって、住みやすい町とするため、小学校の給食費無償化、保育園・認定こども園の第2子以降の保育料完全無償化、子ども医療費の無償化の拡充に向けて市の考えは？また、赤ちゃんの紙おむつの無料配布もしくはサブスクを要望する。

答 小学校給食費、第2子以降の保育料、子ども医療費について、それぞれを完全無償化するためには、多額の追加予算が必要になり、他の子育て支援策との優先順位を考慮し、現時点においては、引き続き、他市状況や国の動向を注視し、慎重に検討したいと考えています。

他の質問項目：防災・減災対策について